



令和8年第2回定例会 ちとせ市議会だより

令和8(2026)年8月1日 発行

● 定例会のあらまし	 2～3 ページ
● 議決結果	 4 ページ
● 一般質問	 5～13 ページ
● 各委員会の活動状況	 14 ページ
● 政務活動費収支報告	 15 ページ

議会中継



会議録検索 PC 版



会議録検索
タブレット・スマートフォン版



翼に夢を乗せて次の 100 年へ！ 千歳市空港開港 100 年記念ブルゾンで開会！



令和8年6月に開会した令和8年第2回定例会では、令和8年10月22日に空港開港100年を迎えることを記念してつくられた「千歳市空港開港100年記念ブルゾン」を着用し、議会を開会しました。

記念ブルゾンを着用して開会した
第2回定例会の様子はコチラ！



議会 YouTube チャンネル



定

例会のあらまし

●令和8年度補正予算等を可決

令和8年第2回定例会は、6月1日から6月16日までの16日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和8年度一般会計補正予算、条例の制定など、報告10件、議案42件、意見書4件が提出されました。

補正予算にかかわる議案のうち3件については、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託したほか、即決を必要とする議案以外については、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、補正予算をはじめとする各議案等について、原案のとおり可決、同意としています。

この定例会の主な議案等の内容は、次のとおりです。

令和8年度補正予算

◆一般会計補正予算（第2回）

歳入歳出予算の総額に

1億4千896万9千円

を減額

主な補正予算の内容

・自動運転社会実装推進事業費

△1億8千348万円

・防火服更新整備事業費

830万9千円

・市内公園整備事業費

830万円

・スポーツセンター備品整備事業費

636万2千円

・新規就農者育成総合対策事業費

375万円

・介護施設等環境改善事業費

359万8千円

◆一般会計補正予算（第3回）

歳入歳出予算の総額に

7千586万3千円

を追加

主な補正予算の内容

・家庭ごみ有料事業費

7千438万4千円

◆千歳市介護保険特別会計補正予算（第1回）

歳入歳出予算の総額に

124万3千円

を追加

補正予算の内容

・介護保険資格等管理運営業務経費

124万3千円

◆千歳市病院事業会計補正予算（第1回）

令和9・13年度の債務負担行為に

1千158万4千円を追加

・後遺障害に係る障害賠償請求事件訴訟事務委託契約

1千158万4千円

主な条例

◆千歳市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部改正に伴い、市民税について所要の改正を行い、固定資産税の免税点を引き上げ、及び特定暗号資産に係る譲渡所得等に係る個人の市民税の課税の特例を設けるために制定

◆千歳市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について

市立図書館分館を設置するために制定

◆千歳市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うために制定

◆千歳市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行うために制定

意見書

◆第2回定例会において議員提案された意見書4件を原案可決

・すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

・ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

・地方財政の充実・強化に関する意見書

・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

人事

◆次の件に同意

固定資産評価審査委員会委員に

小笠原 琢 さん（新任）

農業委員会委員に
片桐 好英 さん（再任）
他17名

その他

◆主な財産の取得

①教員用コンピュータ（その1）
・数量 251台
・取得予定価格
8千542万5千340円

②統合仮想サーバ基盤拡張機器
・数量 1式
・取得予定価格
7千771万5千円

③小中学校学習者用コンピュータ等
・数量 1式
・取得予定価格
1億4千945万400円

④パーソナルコンピュータ等
・数量 1式
・取得予定価格
2億1千285万1千650円

⑤災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）
・数量 1台
・取得予定価格
8千96万9千700円

◆主な工事請負契約の締結

①7緑 南24号ユカンボシ橋修繕工事
・請負金額
2億7千258万円

・請負契約者

協栄・丹波・ヒロトミ特定共同企業体

株式会社協栄土建
代表取締役 前田浩志
千歳市旭ヶ丘1丁目

株式会社丹波組
代表取締役 丹波泰哉
千歳市本町1丁目

株式会社ヒロトミ建設
代表取締役 櫻井靖浩
千歳市みどり台北1丁目

②7緑 第4長都橋修繕工事
・請負金額
2億1千912万円

・請負契約者
金田一・中和・荃津特定共同企業体

金田一建設株式会社
代表取締役 金田一宏明
千歳市千代田町5丁目

中和建設株式会社
代表取締役 西尾暢人
千歳市清流1丁目

株式会社荃津綜業
代表取締役 小原慎司
千歳市上長都1039番地

永年勤続 議員表彰

梅尾要一議員が議員20年表彰、
松倉美加議員が議員15年表彰

5月27日に開催された全市議会議員会第102回定期総会において、梅尾要一議員、松倉美加議員が永年勤続議員として表彰され、第2回定例会初日の6月1日に松倉議長、仲山副議長から表彰状が伝達されました。

◎議員20年表彰者

◎議員15年表彰者



梅尾 要一 議員



松倉 美加 議員

第2回定例会 議決結果概要・議案の賛否 ※議席番号「1」松倉 美加 議員は、議長のため、賛否は「-」としています。「○」＝賛成 「×」＝反対「除」＝除斥		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	付託 委員会	議決結果
		松倉 美加	今井 ひろみ	小川 陽平	佐々 木昭	相沢 晶子	北山 敬太	吉谷 徹	渡部 謙太郎	北原 偉郎	岩満 順郎	大山 益巳	今野 正恵	平川 美由紀	宮原 伸哉	仲山 正人	山口 康弘	山崎 昌則	佐々 木雅宏	古川 昌俊	落野 章一	丸岡 伸幸	坂野 智	梅尾 要一		
議案 第1号	令和8年度千歳市一般会計補正予算について（第2回）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特	原案可決
議案 第2号	令和8年度千歳市介護保険特別会計補正予算について（第1回）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特	原案可決
議案 第3号	令和8年度千歳市病院事業会計補正予算について（第1回）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特	原案可決
議案 第4号	千歳市税条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第5号	千歳市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第6号	千歳市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案 第7号	千歳市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案 第8号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第9号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第10号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第11号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第12号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第13号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第14号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第15号	財産の取得について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第16号	財産の処分の変更について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案 第17号	財産の処分の変更について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案 第18号	財産の処分の変更について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案 第19号	工事請負契約の締結について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第20号	工事請負契約の締結について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第21号	工事請負契約の締結について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案 第22号	町の区域及び名称の変更について	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案 第23号	令和8年度千歳市一般会計補正予算について（第3回）	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案 第24号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案 第25号 ～ 議案 第28号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案 第29号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	-	同意
議案 第30号 ～ 議案 第42号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
意見案 第1号	すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案 第2号	ドナーミルクの利用拡大を求める意見書	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案 第3号	地方財政の充実・強化に関する意見書	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案 第4号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書	-	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

陳情第3号「図書館協議会」設置についての陳情書については継続審査としました。

市政を

問う

今定例会では、6月8日、11日、12日、15日の4日間にわたり一般質問が行われました。これらの質問の中から、主なものを掲載します。

なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

- ☆自民の会
古川 昌俊 議員
- ☆ちとせ未来クラブ
佐々木 昭 議員
小川 陽平 議員
- ☆日本共産党
吉谷 徹 議員
- ☆参政党
今井 ひろみ 議員
- ☆無所属
北山 敬太 議員
相沢 晶子 議員
- ☆自民党議員会
大山 益巳 議員
北原 偉男 議員
山崎 昌則 議員
- ☆公明党議員団
平川 美由紀 議員
宮原 伸哉 議員
- ☆無所属クラブ（維新・市民）
丸岡 伸幸 議員



自民の会
古川 昌俊
議員

地域福祉

問 高齢化の進行により、ごみ出しや買い物など日常生活に支援を必要とする高齢者が増えている。実際に足が不自由でごみステーションまで行けず困っているとの高齢者の相談が町内会に寄せられた。①重層的支援体制整備事業の開始により何が変わったのか。また、②地域包括支援センターや社会福祉協議会、町内会などがどのように連携し、地域で困りごとを抱える方をどのように支えていくのか、考えを伺う。

答 市長 ①重層的支援体制整備事業を開始したことにより、本人の同意がな

くても情報共有が可能となり、支援の検討が早期から行えるようになったほか、関係機関の連携体制や連絡手段が制度化、明確化され連携の円滑化と支援の強化、支援の質の向上が図られている。②民生委員や町内会の皆さまには地域で課題のある高齢者を見守っていただき、必要に応じて地域包括支援センターや市に情報提供いただくなど重要な役割を担っていただいている。提供された情報をもとに地域包括支援センターなどが本人の状況を確認し、必要な関係機関と連携して支援を行う体制となっている。また、生活支援ニーズへの対応は高齢者への買い物支援として民間事業者が移動販売車「とくし丸」により定期的な地域訪問や有償ボランティアによる助け合い制度である「ヤマセミねっと」を生活支援コーディネーターが運営しており、ごみ出し支援や家庭のちよっとした困り事に対応できる体制を構築している。

災害時要援護者支援

問 災害時に自力避難が困難な高齢者や障がいのある方を支援する避難行動要支援者避難支援プランについて①地域での支援体制の現状②登録状況の推移③町内会加入率の低下や担い手不足が進む中で制度をどのように維持していくか伺う。

答 市長 ①避難行動要支援者名簿および個別計画を整理することで災害時に支援を要する方への支援を適切かつ円滑に実施し、その基本的な考え方や進め方を明確にするとともに、自助・地域の共助を基本とした情報伝達体制や避難支援体制の整備を図ることで地域の安心・安全体制の強化につながっていると考えている。一方で要支援者名簿および個別計画の新規登録の受付や登録内容の変更は随時申請を受け付けているが本人が望まない場合や本人

や家族などから申請がない場合には名簿や計画への登録や更新ができないことが課題である。②要支援者名簿は作成を開始した平成26年11月時点で1688人、ピーク時の27年5月時点で1958人、直近の令和7年11月時点では749人となっており、ピーク時と比較して1209人の減少。また、個別計画は作成を開始した平成23年11月時点で84人、ピーク時の27年5月時点で788人、直近の令和7年11月時点では261人となっており、ピーク時と比較して527人の減少となっている。③市としては町内会の皆さまに要支援者名簿や計画に対する理解を深めてもらうため、年2回の要支援者名簿更新の際に各町内会との意見交換や町内会の要請に応じて名簿の必要性、活用方法に関する説明を個別に行うなど、地域の皆さんの防災意識の醸成につながる取組を行い安全・安心な地域づくりを皆さんと一緒に進めていく。



ちとせ未来クラブ

佐々木 昭
議員

公園遊具の点検体制と 安全対策

問 春先の雪解け後における公園遊具の供用開始前の点検体制と遊具に対する具体的な安全対策についての見解を伺う。

答 市長 本市が管理する公園などについては指定管理者が目視や触診などにより、遊具やベンチなど公園施設の異常の有無や劣化の状況などを確認する日常点検を週1回以上行っているほか、毎年4月から5月にかけて、年に1回の専門技術者による定期点検により、遊具の状態を把握し、異常を発見した場合は補修や撤去を行っている。

また、これらの点検の結果、部材の交換が必要など、即時対応が困難な場合は注意喚起を行うとともに、使用禁止措置による対応を行っている。春先の遊具点検については毎年4月初旬頃から公園の開設作業としてプランコ取り付けやトイレ・水飲み台の開栓作業などを実施しており、その作業に合わせて、目視などにより遊具の異常の有無や劣化の状況などを確認している。

公園樹木の管理委託

問 公園内の高木には立ち枯れや虫食いによる枯損、折れ枝の落下などの危険があるが、公園樹木の調査頻度とパトロール業務の委託管理の状況について伺う。

答 市長 公園の樹木については指定管理者による週1回以上の日常点検において、目視などにより、樹木に枯損や枝折れなどが無いか確認することと

しているほか、市民などからの通報があった場合には現地を確認し、対応することとしている。なお、これまで樹木に特化した調査は行っていないが、本年3月に国から街路樹点検の実施促進のためのガイドラインが示されたことから、公園樹木についてもこのガイドラインを参考に人通りが多い所や通学路、緊急輸送道路の付近など優先順位を決めながら点検することとしている。

道路付帯設備の老朽化

問 道路には様々な付帯施設が設置されているが老朽化や破損によって安全面や景観的にも良くない施設の補修や交換修理について伺う。

答 市長 パトロールなどで道路付帯設備の状況を確認し、必要に応じて補修や交換を行っており、財源の確保に努めながら対応しているが経年により

老朽化する施設が増加傾向にあり、対応に苦慮している。道路施設の維持管理については安全かつ円滑な道路交通の確保に向け、機能を維持することを優先に進めているが観光客や人通りの多い30号通のサーモン橋の照明灯や、仲の橋通、30号中通の照明灯の塗り替え、また、照明灯LED化にあわせて照明灯の更新など、長寿命化とともに景観にも配慮するよう取り組んでおり、今後も引き続き、パトロールなどで道路付帯設備の状況把握に努め、適切に対応していく。

その他の質問

- ・ 川南通における中央分離帯開口部について
- ・ 職員の緊急出勤に備えた自宅待機について

若年女性・子育て世帯に 選ばれるまちづくり



ちとせ未来クラブ

小川 陽平
議員

選ばれるまちづくり

問 人口減少が進む中、まちの持続性を考える上では、人口総数だけでなく、若年女性や子育て世帯に選ばれる地域

であるかという視点が重要である。①第3次男女共同参画推進プランの成果と課題をどう総括しているのか、また、②性別・年代別、世帯類型別、転入・転出別などのデータを分析し、若年女性や子育て世帯の就労、子育て、暮らしに関するニーズを次期計画に反映する考えを伺う。③あわせて、男性の子育て参加促進や仕事と家庭の両立支援をどう受け止め、実効性をどのように高めていくのか伺う。

答 市長 ①第3次ちとせ男女共同参画推進プランは男女が共に支えあう意識づくり、家庭づくり、職場づくり、地域づくりと、プランの推進体制の充実の5つの基本方針をもとに、8つの成果目標を設定している。達成状況は子宮がん検診、乳がん検診受診率と市の審議会等委員に占める女性の割合以外の項目について、おおむね達成見込みである。②次期プランでは若者や女性も活躍できる地域づくりを目指した施策を盛り込みたいと考えている。若

年女性や子育て世帯の現状や課題の把握が重要であることから、市民意識調査やパブリックコメント、市の各種統計データの分析、若年層の就労環境や子育て支援などに関する多様なニーズや課題の把握に努める。③子ども・子育て支援アンケート調査では男性の子育ての参加促進について満足度、要求度ともに低い結果であり、男性が育児に積極的に関わることができる環境づくりを進めるため、子育てを両立しやすい職場環境の整備やワークライフバ

ランスに関するパンフレットを事業者に配布するなど情報提供を行い、関係機関と連携し、男性の育児参加の促進に取り組んでいく。

次期DX推進計画と生成AI活用

生成AI活用

問 生成AIをはじめとするデジタル技術は急速に進展しており、人口減少や職員不足が見込まれる中、行政サービスの維持・向上と業務効率化の両面で活用が不可欠である。特に、デジタ

ル庁のガバメントAI「源内」は行政実務に特化したAI基盤として、庁内文書や行政データの活用、利用状況の可視化、効果検証まで含めた取組である。①こうした国の動向を踏まえ、本市では次期DX推進計画にRAGやAIによる成果指標を設定するのか。②次期DX推進計画において、AIやRAGの活用にかかわる特定業者への依存防止やリスク管理、職員へのAIリテラシー教育に対する考えを伺う。

答 市長 ①AI技術革新の大きな変化が見込まれ、現時点では具体的な数値による成果指標の設定は難しいと考えているが、次期DX推進計画策定の中でよく検討していく。②長期間の同一事業者の業務受託を防ぐため、システム導入時の仕様書や契約書において、移行するデータレイアウトの標準化や契約終了時のデータ返却・削除などに考慮した条項を盛り込む対応を行っている。AIに関連したシステムも必要に応じて、同様の手法を取り入れていく。リスク管理については導入し

ているRAG機能において資料閲覧権限の設定、回答の根拠表示、個人情報送信の制限、利用ログの管理などリスク管理に必要な機能が搭載されているほか、千歳市生成AIの利用ガイドラインにおいても、職員が遵守すべき事項を明記し、適正な運用を図っている。職員のAIリテラシー教育については生成AIをテーマとしたワークショップや職員研修を実施しており、引き続き、職員のAIリテラシー向上に資する効果的な取組を進めていく。



日本共産党
吉谷 徹
議員

精神障がい者への支援向上

問 精神障がいとなった方へも優しい行政であることを願うが、現状は理解促進や支援が十分ではないと考えるためより良くなればと思う。①病そのものの市民理解と精神障がいとなった方の苦悩苦痛を周知し理解を深めることについての取組。②精神障がいの方の支援ニーズを把握しているのか。③精神障がいの手帳交付を受けた方などへ自立支援医療、障害年金や生活保護の制度内容といった補助内容や受給できる金額内容などの説明を丁寧にされてきたのか。④精神障がいのある生活保

護受給者に機械的で事務的な対応に終始せず、医療扶助の十分な周知と医療機関変更などの相談に対し、できる限り寄り添った対応ができないか伺う。

答 市長 ①千歳市コミュニケーション条例の普及啓発リーフレットやちとせの障がい福祉ガイドを障害者手帳の交付時に配布しているほか、市HPへの掲載や各障がい福祉相談窓口への設置など障がいの理解促進に努めている。②障がいのある方を対象とするアンケート調査の実施のほか、千歳市障がい者地域自立支援協議会において精神障がいのある方を支援する事業者などから、地域における課題や支援ニーズなどの情報提供を受けている。③障がい者支援課窓口で減免制度や障がい福祉サービスなどをまとめた資料を配布し、手続き漏れがないよう、口頭での説明も行っている。④精神疾患などには異動先の医療機関への変更を可能

としている。また、病状が改善しないなどの理由で主治医から紹介状をもらい、通院先の変更を認めているケースや転居に伴い通院先が遠距離になった場合は近隣の医療機関への変更が可能であるなど柔軟に対応している。

公共空間を活用したフードバンク保管

問 フードバンク関連団体について、長年の活動実績が功を奏したのか昨年に続き今年も政府備蓄米の給付支援を受けることとなったが、同時に保管場所の苦慮についても継続していると聞く。①米や支援物資の保管場所について公共施設やそれに類する建造物、空間を活用できないか。②難しい場合は地方重点支援対策交付金やその他補助金などの活用を駆使することで物資の保管場所を用意できないか。また、こども食堂支援とも独立しない取組になるのかと考えるため、特定の団体への

答 市長 ①公共施設は基本的には目的以外で使用可能な余剰スペースを想定した建物とはなっておらず、また、食品を管理する上での衛生面、不特定多数の人が出入りすることによる防犯体制の確保などに課題もあることから、食品などの保管場所として公共施設を提供することは難しいと考えている。②市ではフードバンク団体への支援として、市内の企業や個人の方から食料品の寄附の申出があった際に団体につながるなどの側面的な支援を行っている。今後も企業や町内会など、市以外の団体や個人が所有している土地や建物について、市が情報を把握した場合には可能な範囲で情報提供を行うほか、団体の活動で生じている課題などについて相談を受けた場合には団体の皆さまとの意見交換に努めていく。



参政党
今井 ひろみ
議員

卒業式における 在校生の参列再開

問 コロナ禍以降、一部の中学校で卒業式への在校生参列が取りやめられ、その状況が続いている。卒業式は感謝・思いやり・協調といった心の教育を実践する場であり、子どもたちが社会への第一歩を踏み出す大切な行事である。在校生が参列することで子どもたちは人としての節目を大切にすることを学び、学校全体が思いやりと協調の文化を共有することができる。①コロナ禍以降に本市において吹奏楽部や生徒会などではなく、その他の在校生の参列が見送られている学校は何かあるのか。

か。②子どもたちが節目を共に祝う機会を少しずつ取り戻していくことは学校全体の一体感や心の教育の充実につながるかと考える。コロナ禍以降、在校生の参列が見送られている学校については、卒業生の次の学年だけでも段階的に参列させることはできないか。

答 教育長 ①コロナウイルスが確認された令和元年度以降に、在校生の参加を見送っている学校数は北進小中学校と千歳中学校の2校となっており、千歳中学校は在校生の代表として生徒会および吹奏楽部が参加をしている。②卒業式において在校生の参加を見送っている2校については、各校で卒業式当日の参加に関わらず、教育活動全体を通して卒業生への感謝や尊敬の気持ちを育むための活動を展開しており、在校生全員で卒業生を祝う卒業生を送る会の開催や、卒業式の総練習を在校生に参観させ、交流の機会とするなど、各校が工夫を凝らしながら学習

小中学校における 退職職員の再雇用

問 定年退職した先生方の豊富な経験と知識を教育現場や地域で最大限に活かすため、定年職員の状況を体系的に把握し、活躍の場をさらに広げる取組を積極的に進めるべきだと考える。教育現場と地域をつなぐ仕組みを構築することが、これからの本市教育行政に求められるのではないかと。①教育委員会では定年退職教員の学習支援員や地域学校協働活動ボランティアなどとして再雇用希望の有無をどの程度把握しているのか。②その情報をもとに教育現場や地域での活躍の場をさらに広げ

る取組を進める考えはあるか。

答 教育長 ①定年退職を迎えた教員のほとんどは、年金の支給開始年齢である65歳に達するまでの間、暫定再任用制度を活用し、教員として学校での勤務の継続を希望している。また、市内小中学校に勤務する65歳までの暫定再任用を終えた教員についても期限付教諭や短時間の時間講師としての勤務をお願いしており、多くの方々が学校現場での勤務を継続している。②教員の定年退職後の生活においては年金支給開始までの雇用継続など、経済的な生活基盤の確保が優先される傾向にあることから、ボランティア活動などを希望される方は限られている。教育委員会としては教員の業務負担の軽減と教育環境の充実を図るため、引き続き、学校や地域と連携を図りながら、退職教員の豊富な経験と、学校現場のニーズが円滑に結びつくよう、人材把握と活躍の場の確保に努めていく。



無所属
北山 敬太
議員

市長の政治姿勢

問 不動産価格や諸物価の高騰などに加え来年度は固定資産税の評価替えにより、千歳市民には税負担の増加も追

い打ちとなる。今後、この負担増を上回る具体的な利益還元がなければ市民の不満や不安は一層高まり、さらなる人口流出と地域崩壊を招くと思われる。横田市長は就任以降のこの3年間で、市民生活の安心と安定に向けた取組については積極的に推進されたように感じられない。①この間、市民の生活環境改善のために市長が成し遂げた具体的な実績について。②本市に住み続けたいと願う市民の不安と不満を払

拭するため、市長が今後、充足させようとする施策とは何か伺う。

答 市長 ①市政運営にあたっては安全・安心・健やかに、活力にあふれ、快適に過ごせる、人口増加が続く持続可能な千歳の未来の実現に向け、市民が生活を送る上で基盤となる安全・安心なまちづくり、多様な資源と財産を最大限に生かした活力あるまちづくりの2つを両軸に据えて、5つの柱からなる公約を掲げ、各種事業を実施してきた。具体的には安全・安心、健やか

なまちづくりとして、コミュニケーション条例の制定など。人を育むまちづくりとして、子ども医療費の助成対象拡大など。活気あふれるまちづくりとして、合同企業説明会の拡充や高校生向け企業見学バスツアーなど。快適に暮らせるまちづくりとして、個別計画に基づく道路・公園や公共施設の適正な維持管理など。まちを支える基盤づくりとして、コミュニティセンターへの公衆Wi-Fiや冷房機器の設置などを実施した。②今後においても市民

ニーズや課題を的確に把握し、安心して住み続けたいと感じられる環境づくりを着実に進めていく。

向陽台地区の活性化

問 向陽台地区は小学校から大学までの教育機関がそろった市内唯一の文教タウンであり、各学校と住民の親和性も極めて高い。一方で若草、白樺地区は市内でも特に高齢化が進んでおり、買い物や通院に難儀されている高齢者

なども多く、対策を講じなければならぬ時期にきている。向陽台地区の地価は現在でも市中心部と比較すると半額以下であり、医療機関や商業施設を補完し、地区の中で生活が完結する環境さえ整えれば、手ごろな価格で住居を持ちたい若年者層に十分訴求できる魅力を備えている。また、全国で整備が進むスマートシティの舞台としても最適であり、向陽台地区の再生と活性化以外に人口増加の手段はないと感じるが、市長の所見を伺う。

答 市長 向陽台地区は静かな環境や豊かな自然、勤務地である苫小牧市へのアクセスの良さを求める方にとって、魅力的な地域であり地域活性化に向けた活動にも積極的に取り組まれている地域である。一方で住宅地の分譲開始から45年以上が経過し、65歳以上の高齢者の割合が36%を超え、市内平均と比べて高齢化が進んでいるなどの課題があると認識している。向陽台地区におけるスマートシティの構築については地域の特性などを踏まえ、令和

6年度からスマートシティの構築にも資する、自動運転バスやAIオンライン交通システムの検証実験を行っており、また、高齢化が進む地域への若年・子育て世帯の居住促進については地域の活力を高め、コミュニティ機能の維持などにもつながることから、今年度から若年・子育て世帯の定住促進に向け若年・子育て世帯を対象に新築・中古住宅の取得支援事業を実施しており、さらなる取組についても、今後よく検討していく。



無所属
相沢 晶子
議員

新工業団地

問 本市が整備を計画する市内柏台地区の新工業団地の予定地に絶滅危惧種の動植物が生息しているという報道に大変驚いた。その報道では道の都市計画審議会でも市街化調整区域から市街化区域への区域編入について審議した際、委員の質問に答えた形で絶滅危惧種の存在が明らかになったとのことだが、①市の環境審議会および都市計画審議会では新工業団地予定地における環境調査への言及がなかった。それぞれの審議会において、報告を義務付けられている内容について。②報道にあった

ハイトカルの営業が確認された場所、今年の営業は確認されたのか、また、確認された場合の見守り方法を伺う。
答 市長 ①千歳市環境審議会は市長の諮問に応じ環境基本計画、公害対策、自然環境保全および環境影響評価などについて調査審議を行い、千歳市都市計画審議会は都市計画マスタープランや立地適正化計画など各種計画の策定に関して進捗状況を報告するなど、都市計画法により、その権限に属した事項や市長の諮問に応じ都市計画の決定や変更等の都市計画などについて調査審議を行うものである。②ハイトカは令和7年6月にCブロックにおいて営業と繁殖活動を確認した。専門業者からハイトカルの繁殖期は4月から7月であり、繁殖後は繁殖地への執着が薄れ、行動圏が広がる習性があり、営業が確認された場合は雛が巣立つまで監視員を配置しながら作業をすることが望ましいと伺ったことから、今年

の5月8日、22日、23日、6月3日に現地を確認したところ営業や繁殖活動は確認できなかった。このことから、特段の対策は実施する予定はないが作業中に営業が確認された場合は巣を保護するだけではなく、鳥類専門の環境監視員を配置し、親鳥に異常行動があれば作業を中断するなど雛が安全に巣立つまで監視をすることとしている。

ラピダスの排水の考え方

問 ラピダスは量産ラインにおいて太平洋に注ぐ安平川から日量2万4千m³取水する。その排水は本市が設置した下水道を通り、最終的に千歳川を流れることが4者（国、道、千歳市、ラピダス）会議で決定したと聞いているが墨塗だらけの4者会議議事録からは千歳川にラピダスの排水を流すための方法論を議論したことしか読み取れないため①実際にラピダスの排水を千歳川に流すことを決定したのはこの4者会議だったのか。②以前から私はラピダスの排水は千歳川に流すべきではないと発言してきたが、ラピダス立地決定直後から4者会議までの間、水道局内や庁内で排水をどこに流すかについての会議はなかったのか伺う。
答 市長 ①4者会議の場ではラピダス社から示された量産稼働に必要な水量と工場排水の処理方法などに基づき、市の下水処理能力、施設整備の実現性などの検討を行った。②ラピダス社の立地決定後、水道局内および庁内ではパイロットライン稼働までに必要な上下水道施設や道路施設の規模や整備方法の検討はしてきたが、美々ワールド地区で発生した汚水は千歳市浄化センターで適正に処理し、千歳川へ放流することを前提としていたことから、会議等で検討はしていない。

その他の質問
・人事提案の在り方



自民党議員会
大山 益巳
 議員

道路行政

問 上長都地区の工業団地・流通業務団地で大型車両の往来増加が見込まれ、北斗・自由ヶ丘・桜木・旭ヶ丘など住宅地に近接する地域への流入による安全面・騒音・振動への不安が指摘される。①大型車両の種類・交通量の把握状況。②住宅地への流入想定。③将来的なルート整備の考えや誘導方針。④旭ヶ丘地区の生活道路への影響認識。⑤住宅地への影響を考慮した物流動線分離など誘導対策の方向性。また、⑥上長都工業団地周辺の幹線道路は張り出し樹木による大型車両の接触や街路灯の光の妨げ、遺跡公園周

辺は見通し悪化による児童の飛び出し事故への懸念が生じている。5線通り・32号通り沿いの現状把握。⑦安全面への影響認識。⑧今後のせん定計画・優先順位。⑨遺跡公園周辺の対応。⑩街路灯の点検体制・せん定期の見直しについて伺う。

答 市長 ①各運営事業者に対し立地後のフォローアップ訪問などの中で確認していく。②今後、倉庫を活用する企業が決定し車両の通行も増加が想定される。③物流機能と市民の生活環境を確保するため、将来都市像を踏まえ計画的に配置しており、工業団地周辺に幹線道路を配置することで大型車両の住宅地内の道路への流入が避けられ、適切な通行を促している。④地域住民から相談や苦情はないが、相談などが寄せられた際には騒音や振動の測定や注意看板の設置など適切な対応を行う。⑤騒音や振動の影響が大きい場合は案内看板の設置や立地企業などに周辺環境を考慮したルート設定や住宅地内の進入の抑制をお願いする。⑥車

青葉公園の運動施設

問 エゾシカの生息域拡大により青葉

公園内、特にラグビー場周辺でシカのふんが多数確認され、衛生面や競技環境への不安の声が上がっている。①市の現状把握状況。②利用者・競技団体からの要望内容。③衛生面・競技環境への影響認識。④シカの侵入防止対策やふん除去対策の強化の考えについて伺う。

答 市長 ①シカのふんが存在している状況を確認しており、千歳市スポーツ協会と連携を図り、ラグビー場の外周を3メートルの高さのネットで囲うほか、年に4回程度忌避剤の散布を行うなどの対策を講じている。②千歳市ラグビーフットボール協会からは柵の整備、赤外線カメラの設置、ベンチやゴールポストカバの更新に係る要望があり、ゴールポストカバは令和7年度に更新した。③衛生面や競技環境への影響が大きいことから野生動物対策が必要であると考えている。④ネットのかさ上げや破損部分の補修、忌避剤の散布。さらに忌避音発生装置を設置しその効果を検証している。



自民党議員会
北原 偉男
 議員

市民サービスに係る 補助金制度の活用

問 本市で行っている市民に対する補助金等の制度は100件を超えるという。補聴器購入に係る助成や運転免許

自主返納者へのバス・タクシー利用券配布などは身近でよく聴く。バス・タクシー利用券は100円券が100枚つづられており、これを有効に使用するためにはシルバーお出かけバスが必要と認識している。同バスを所持・携行し下車時に提示することにより市内の一部区間を除く全区間で指定された時間であれば100円で乗車できる。これらの情報は市民にどのように周知を図っているのか伺う。

答 市長 高齢者運転免許自主返納サ

ポート事業の利用券の交付時に利用可能なバスやタクシー事業者の一覧や利用券の使い方を掲載した案内をお渡しするとともに、利用方法について丁寧に説明するよう努めている。また、広報ちとせやSNSのほか、内容に応じて新聞や地域の生活情報誌に記事を掲載するなど、市の取組が市民へ届くよう取り組んでいる。高齢者や障がいのある方などで情報の収集が難しい方にも情報が伝わるよう、高齢者運転免許自主返納サポート制度事業では高齢者交

通安全教室や出前講座、警察署で免許証を返納する際に、シルバーお出かけバスは消費者まつりやバスの日イベント開催時に参加者にチラシを配布するなど周知を行っている。今後も広報ちとせや市HP、SNS、新聞、地域の生活情報誌などを活用し、広く市民周知に努めるとともに、各担当窓口において高齢者や障がいのある方などで、対象者に応じた周知方法を工夫することで、市民の皆様により確実に情報が届くよう取り組んでいく。

申請窓口の一本化

問 補助金等の申請は担当窓口で受け付けてもらえ、市のHPで申請可能なものもある。例えば運転免許を自主返納し、バス・タクシー利用券配布を受け取り、シルバーお出かけバスの交付を受けようとする、市役所第2庁舎2階の担当課から本庁舎4階の担当課まで移動しなければならない。デジタル技術を活用し各種手続きのワンストップ化を図れないか伺う。

答 市長 各補助金等の担当窓口については専門性の確保や適正な審査を行うことが求められることから、各制度の所管部署においてそれぞれ対応を行っており、ワンストップ窓口において全ての申請受付や相談対応等を行うことは難しいものと考えている。市役所への来庁者対応は市民等が相談や申請に利用する機会の多い担当部署を第2庁舎に配置し、関連する窓口への導線を可能な限り容易にするとともに、1

階入口近くに総合案内窓口を設置し、来庁目的の把握による適切な担当部署への案内、申請書の記載支援など来庁者がスムーズに各種手続きを行い、また、できるだけ負担を軽減できるよう、丁寧な窓口対応に努めている。今後ともこれまでの取組の創意工夫を継続するとともに、DX推進による取組を増やしており、市役所に来庁せずに手続きが可能となるオンライン申請の拡充や今年度以降に開始する市民ポータルアプリにおいて、登録者の年齢や居住

地域、ライフステージなどの属性に依り、必要とされる情報をプッシュ型で発信することとしている。近年、デジタル技術は生成AIの普及により急速に進展していることから、窓口対応においても積極的に活用し、市民等の利便性向上を図りたいと考えている。一例として、補助金などの窓口情報に関するデータベースを構築し、多くの職員が共有することにより、幅広い部署で適切な案内が可能となる体制づくりについてよく検討していく。



自民党議員会
山崎 昌則
議員

バス交通対策

問 今年4月に市内バス路線ならびにダイヤが改正され、改正事業に関わられた関係者およびバス会社等に感謝している。①そこで最近相談を受けるのが、市内路線バスがキャッシュレス化されると便利で良いのと言われる。全車両のキャッシュレス化についての考えを伺う。②新たに運行を開始した路線のこれまでの乗車状況はどの様に推移しているのか。また、航空大学校の学生の利用状況と評判について伺う。③今回のバス路線の新設や延伸ならびに運行時刻の変更に対して市民が

答 市長 ①ニーズや採算性を踏まえながらキャッシュレス決済の導入拡大に向けてバス事業者と協議を進めており、国の補助金の活用も含め事業者に対する支援のあり方についても検討していく。②本年5月に実施した路線バスの乗降調査では新たに運行を開始した美々空港線において1日当たり1407人の乗降があったほか、延伸した泉沢向陽台線の日本航空大学校は55人の乗降があり、市内路線バス全体の1日当たりの乗降者数が昨年同時期の4213人から5644人となり、路線の新設などの取組が乗降者数の増加につながったと考えている。また、日本航空大学校からは休日買い物やまちなかへ出かける際の移動手段として、学生生活を支えるものとなっていると伺っている。③今回の路線新設に際し「バスの便数を増やしてほしい」

「南千歳駅前にバス停を設置してほしい」などの声が寄せられ、運転手の確保などの課題はあるが、今後、実績や利用者の意見を踏まえ路線バス事業者と協力いただきながら、より利用しやすい路線バスとなるよう取り組む。

千歳市内の美化

問 市内はたばこやごみなどのポイ捨て、雑草の繁茂が散見される。①空港開港100年を迎えるにあたり、一定の期間を設定し地域、事業者、行政、空港周辺道路の管理団体などに呼びかけ、仮称「市民総出クリーン作戦」を開催し、ごみ拾い・雑草除去などの作業を市民総出で行い100年記念に望むのはどうか。②ごみ・たばこなどのポイ捨てが目につき、ポイ捨てをする人のモラルを考えると大変に悲しい気持ちになる。ごみの無い千歳を作るために「ごみポイ捨て等防止条例」を

制定すること、またはごみ箱の設置なども現状改善に必要かと考える。この条例などに対する本市の考えを伺う。

答 市長 ①9月12日から10月20日までを空港開港100年記念環境美化活動強化期間として設定し、空港やその周辺道路の関係機関や団体はもとより、市内各地域のボランティアや事業者などに對してもごみ拾いや雑草除去などの取組への協力を呼びかけるなど、一体となつて空港開港100年を祝えるよう、千歳市空港開港100年記念事業実行委員会とも連携しながら準備を進め、今後の継続した取組にも繋げていく。②市独自の条例の制定は一定の抑止力になるものと考えているが監視員体制の構築、また、違反者の特定が難しいなどの課題があるものと認識している。今後、独自に制定している他自治体の状況についてよく調査していく。

その他の質問
・基地対策
・消防行政
・顕彰物の管理



公明党議員団
平川 美由紀
議員

带状疱疹ワクチン接種

問 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について、国は令和7年度から11年度までの5年間の経過措置期間について

は65歳の方と70歳から100歳までの5歳ぎみの年齢になる方も接種の対象としている。市民の中には65歳で接種しなくても70歳や75歳で接種の助成を受けられると勘違いしている方も多く、5年間の経過措置期間中での接種機会を逃してしまうと助成を受けられないことから、正しい情報を伝えていく必要がある。①带状疱疹ワクチン接種費用助成の該当年度において、年度

末に未接種の方に対し、助成が今年度のみであることを再通知してはどうか。②該当年度に接種機会を逃してしまった方への救済措置についての見解。③北広島市では50歳以上の全ての方を対象に接種費用の助成を行っている。このような取組であれば、助成対象期間中いつでも接種できるので安心だが、带状疱疹ワクチン接種助成の対象年齢拡充について伺う。

答 市長 ①定期接種の対象者に対し、該当する年度の4月に予防票と対象年齢を記載したチラシを自宅に送付しているほか、広報ちとせや市HP、SNSに加え、医療機関にリーフレットやポスターを設置するなど、ワクチンの定期接種を希望する方が接種ができないことのないよう対象年齢などについて周知を行っている。今後は介護予防教室など、高齢者が多く集まる場所においてリーフレットやポスターを設置するなど、対象年齢をはじめ定期接種

に関する情報を適切に取得できるよう取組を進めていく。②該当年度に接種機会を逃された方に対する費用助成の実施は行っていないが、国が接種機会を逃された方に対する救済措置を示した場合には速やかに対応していく。③本ワクチン接種は定期接種化を開始してから間もない状況であり、今後の接種率の動向を注視するとともに国が定期接種の対象範囲を拡充した場合にはその方針を踏まえ、円滑に接種できる体制を整えていく。

霊園施設の整備

問 本市には大型霊園が未広霊園と千歳霊園の2か所ある。地域の方から千歳霊園には大きな案内看板が設置しているのでもともと分かりやすいが、未広霊園の案内看板は分かりにくく、迷ってしまうとの声を伺った。霊園はさまざまな状況の方が来られる施設である

ことから細やかな配慮が必要と考える。霊園利用者が迷わずお参りできるよう、未広霊園内の案内や誘導をもっと工夫すべきと考えるが見解を伺う。

答 市長 来園者への案内として、入口付近に設置している案内板にお墓の配置を示した全体図を掲示するとともに、一団の区画ごとに区画番号を示した看板を設置している。また、来園者がお墓の位置が分からない場合には指定管理者の職員が常駐する管理事務所に案内して対応している。相続によりお墓の継承も進むなど、霊園には市外からも多くの方々が訪れていることから、お墓の配置を示した全体図についてはサイズの拡大やカラー化など、より分かりやすい図面への変更を検討するとともに、お墓まで分かりやすく誘導するための新たな看板の設置についても指定管理者と協議を行っていく。



公明党議員団
宮原 伸哉
議員

ナフサ不足による影響

問 ナフサは私たちの暮らしに欠かせない幅広い製品の原料になっているが、イラン情勢の悪化で供給不安が広

がっている。この状況が続くことで、市民生活において心配となるもののひとつに、市の指定ごみ袋があげられる。今定例会にて、今後の不測の事態に備えるため、追加発注の補正予算を提案することのことだが、①補正予算に至った経緯。②指定外ごみ袋の活用および値上げの可能性の有無。③市民に対するメッセージを伺う。

答 市長 ①本市では本年4月1日時点において令和9年9月頃までの在庫を確保している。本年3月に令和9年

度以降の在庫の調達を目的として行った発注では中東情勢の影響による製造単価の上昇により、数量を当初予定の約2分の1にするとともに、市指定ごみ袋の原料を原油由来であるナフサから植物由来のバイオマスプラスチックを一部配合した製品に変更し、9月および10月に納入される予定となっている。また、出荷量の推移は中東情勢の影響による市民の不安の高まりなどにより、4月から5月までの2か月間では昨年比約1.3倍、6月第1週から

第2週までは約1.8倍と出荷量が増加傾向にある。このことから、このたびの補正予算案は原材料費の高騰による製造単価の上昇と、計画的かつ安定的な供給量を確保するため行うものである。②普段どおりの購入量や頻度であれば十分な在庫を確保していることから、現時点では市販の透明や半透明などの袋の使用をお願いする対応は考えていない。また、本市の指定ごみ袋の価格はこのたびの、市指定ごみ袋の作成費用の増加をもって直ちに値上げ

を行うことはない。③「指定ごみ袋は十分な在庫を確保しており、今後も計画的な調達により、安定した供給に努めてまいりますので、普段どおりの必要な数量でのご購入をお願いいたします。」

シカ対策の現状と被害への対応

問 エゾシカの市街地への出没を減少させるため、冬期間の捕獲事業や大型罠い置による捕獲を行っているところ

だが、いまだに出没が絶えず、さまざまな被害が生じている。家庭菜園の食べ荒らしや踏み荒らし、庭柵の破壊などの被害に対する経済的支援も含めた対応策が必要と考える。①市民からのシカ被害の相談に対して、現在の市の対応を伺う。②草花や芝などの被害被害を防ぐために民間企業が考案した特殊加工のネットや踏み荒らしなどを防ぐための特殊防止柵などを市が仲介する形で現物支給をすることや購入者に対

する補助金支給などの支援についての考えを伺う。

答 市長 ①市民の方からエゾシカによる庭木などの被害被害の相談を受けた際にはネットやブルーシートの活用や鳥獣を寄せ付けない薬剤の活用など自衛策について助言しているところであり、特定外来生物であるアライグマやエキノコックス症を引き起こす恐れがあるキツネについては捕獲する対応をとっている。②特殊加工のネットなどの資材の現物給付や購入費への補助

制度については、家庭菜園や庭などへの対策は一定の効果は期待できるものの、地域全体の被害の解決にはつながりにくいことから直接的な補助の実施は難しいものと考えているが、生活圏における被害の軽減は重要な課題であることから市街地周辺での忌避音発生装置や忌避剤の活用による出没抑制効果の検証をはじめ、市街地調整区域においては新たに市独自のくくり罠設置の検討など効果的な方策についてよく検討していく。



町内会補助金の増額

問 令和7年第3回定例会で私が町内会の活動資金への補助金の増額について質問した結果、今年の4月より補助金単価が290円から500円に増額した。また、備品の補助金が9割助成となり、町内会役員の一人として大変ありがたい。しかし、町内会館の電気代、灯油代などが町内会の負担となっており、補助金が上がってなかった17年間で電気代は2割から3割以上上がり、灯油代は18リットルあたり約1500円から1800円であったが、現在は2300円から2500円に上がって

いることから、町内会に対して電気代、灯油代などを支給できないか。指定管理施設では光熱費の値上げに対して補正予算を組み、すぐさま委託料を上げ補てんしたこと、町内会も同様に補助する考えはあるか伺う。

答 市長 町内会活性化ビジョンを新たに創設し、本年度より各種事業を実施している。町内会育成事業では住民組織活動費として町内会に助成している一世帯あたり290円を500円に増額するとともに、新たに定額で3万円を助成している。また、令和8年度から12年度までを事業期間とし、備品購入費や町内会館の施設修繕費などの90%を補助する町内会備品等整備事業を新規事業として立ち上げ、資源回収事業では町内会への資源回収奨励費を1キログラムあたり4円から6円に増額した。これらの事業は町内会活動に係る財政支援の拡充を図ることで、町内会館の光熱水費などの維持管理費を

向陽台地区の通学路

含め、住民同士の親睦や交流、高齢者の見守り、交通安全、生活環境の整備、防犯や防災活動など、町内会活動の充実につながるものと考えている。

問 向陽台地区には小学校2校と中学校1校がある。①通学路だと認識できる注意喚起看板を増やしてはどうか。②学校の近くの信号機のない横断歩道には「児童横断キケン」と書かれた注意喚起看板があるが、色あせて何を書いているか認識できないため、色付けなどの修繕はできないか。また、③横断歩道の白線をきれいに引き直すことができないか。④信号機のない横断歩道では歩行者が渡るうとするときに、約7割超の車が一時停止をしていないことが調査で判明している。信号機が設置できないのであれば、横断旗を設置することができないか考えを伺う。

答 市長 ①現地の道路状況や車両の通行状況などを確認し、学校や地域の要望などを踏まえながら看板の増設を含め効果的な安全対策について必要な対応を行う。②市が管理する看板は色あせなどの劣化状況を確認し、必要な対策を行う。また、市以外の地域団体が管理する看板は必要に応じて管理者に対応を求めるなど、通学路における注意喚起看板の適切な管理に努める。③横断歩道は北海道公安委員会が設置し、維持管理を行っており、市の判断で独自に白線の引き直しはできないが、必要に応じて千歳警察署を通じて、北海道公安委員会に情報提供し、適切な対応を要望していく。④令和7年度に登校時の交通量が多い勇舞中学校前の信号機のない横断歩道に横断旗を設置し、ドライバーへの注意喚起に一定の効果があるものと考えており、学校や地域からの要望を踏まえ、横断旗の設置について検討していく。

各委員会の活動状況

4月～6月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。

総務文教常任委員会

▼5月25日(月)10時
令和8年度自動運転バスの実証実験についてなど、24件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月2日(火)13時

千歳市立図書館条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第2回定例会付託議案13件を原案可決とし、千歳市地域公共交通計画の改訂についてなど5件の所管事務調査を報告済みとした。また、「図書館協議会」設置についての陳情を継続審査とした。

▼6月15日(月)本会議終了後
令和8年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要についての所管事務調査を報告済みとした。

厚生環境常任委員会

▼5月26日(火)13時
令和8年度千歳市病院事業会計補正予算(案)の概要についてなど、15件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月2日(火)13時

千歳市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について第2回定例会付託議案1件を原案可決とした。

▼6月15日(月)本会議終了後
外科系1次救急の患庭市との連携についてなど、4件の所管事務調査を報告済みとした。

産業建設常任委員会

▼5月27日(水)13時
令和7年度観光入込客数についてなど、14件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月2日(火)13時

千歳市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第2回定例会付託議案5件を原案可決とした。

議会運営委員会

▼6月1日(月)11時

第2回定例会の議事運営についてを決定し、陳情の取り扱い、意見書の提出、議会改革について協議した。

▼6月8日(月)10時

第2回定例会の議事運営についてを決定し、意見書の提出、議会改革について協議した。

▼6月16日(火)11時

第2回定例会の議事運営についてを決定し、意見書の提出、議会改革について協議した。

その他の活動・報告

☆セーフティコール

4月6日に千歳市議会議員で組織する千歳市議会議員会は、交通事故のない、安全で安心な社会の実現を願い、警察署、市内関係団体とともにセーフティコールに参加し、「スピードダウン!!」「シートベルト着用」等の旗を掲げ、通行車両に対し交通安全を呼びかけました。



☆議員報酬改定に係る意見交換会
6月16日(火)に2回目の議員報酬改定に係る意見交換会を開催しました。詳細につきましては、16ページ裏表紙「議員報酬改定に係る意見交換会」の記事をご覧ください。



☆タブレットの更新

千歳市議会では令和2年8月に市民対応と即時性、議会の可視化、業務の効率化、議員の政策形成力の向上を目的としてタブレットの導入を行いました。令和8年度において、最新OSに対応する端末への移行および資料閲覧しやすい大きい端末への移行を進め、ペーパーレス化のさらなる促進や議員活動の活性化を図るために、タブレットの更新を行いました。

令和 7 年度 政務活動費収支報告

政務活動費の交付概要

◎政務活動費とは◎

- ・千歳市議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、市議会の会派または会派に所属しない議員に対して交付するものです。

◆交付額◆

議員 1 人あたり年額 20 万円

◆交付方法◆

会派（所属議員が 1 人の場合を含む）交付とし、残余が生じた場合は、その額を返還することになります。

◆収支報告書・領収書の公開◆

収支報告書・領収書の内容は、市議会ホームページで公開しています。

※市議会では、政務活動費の具体的な運用上のルールや取り扱いを定めた「政務活動費の運用基準」を策定し、市議会ホームページで公表しています。

市議会ホームページ
政務活動費収支報告



各会派等の収支報告内容

	交付額 (円)	収入額 (円)	支 出 額 (円)									返還金 (円)
			調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳 情活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	支出 合計	
自民党議員会	1,467,000	1,886	248,748				435,640				684,388	784,498
公明党議員団	600,000	736					81,160		7,267	24,200	112,627	488,109
無所属クラブ (維新・市民)	400,000	0			128,810		45,989		54,478		229,277	170,723
自民の会	133,000	25	132,134								132,134	891
ちとせ未来 クラブ	400,000	368					22,003				22,003	378,365
参政党	200,000	185									0	200,185
無所属 梅尾要一 議員	200,000	189					42,830				42,830	157,359
無所属 落野章一 議員	200,000	245							5,575	6,400	11,975	188,270
無所属 北山敬太 議員	200,000	95							70,527	23,474	94,001	106,094
無所属 相沢晶子 議員	200,000	230			54,670					1,400	56,070	144,160
無所属(議長) 松倉美加 議員	200,000	213									0	200,213
無所属(副議長) 仲山正人 議員	200,000	269					44,200				44,200	156,069

※収入は預金利子

※日本共産党は政務活動費の申請がなかったことから、政務活動費の交付はありません。

主な支出内容

- 調査研究費：「F35 戦闘機受け入れ後の騒音状況・対策視察」（小松市）
- 要請・陳情活動費：「千歳市の自衛隊体制維持・強化に関する中央要望活動」（東京都）
- 広報費：「活動報告紙作成」
- 資料作成費：「点字印刷資料作成」

第2回

議員報酬改定に係る意見交換会 を開催しました。

令和8年6月16日(火)に2回目の議員報酬改定に係る意見交換会を開催しました。

今回の意見交換会では、第1回意見交換会であった各議員からの意見をもとに、議員報酬「引き上げ」と「現状維持」それぞれの目的や理由について意見交換を行いました。

その中では、議員活動の状況や市民理解についての考え方など活発な意見が交わされました。



令和8年7月24日(金)に開催した第3回議員報酬改定に係る意見交換会の様子につきましては、次号でお知らせいたします。

第1回及び第2回の意見交換会の結果については、市議会ホームページに繋がる2次元コードからご覧ください。



議会事務局からのお知らせ

議会の予定

令和8年第3回定例会は9月17日(木)に開会する予定です。正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページやポスターでお知らせします。

★ホームページ/YouTubeのご案内



市議会のホームページには、市議会のさまざまな情報を掲載しています。



市議会 YouTube チャンネルでは議会のライブ・録画配信を行っています。

市民の声を聴く会 開催のお知らせ

第14回市民の声を聴く会を開催します。

【と き】11月17日(火)16時

【ところ】北ガス文化ホール

申込方法などの詳細は千歳市議会事務局にお問い合わせください。

問い合わせ先

千歳市議会事務局 TEL 0123-24-0793

メール: gikaigiji@city.chitose.lg.jp

点字・音声版「ちとせ市議会だより」 を知っていますか?

文字による情報を利用することが困難な方に、ちとせ市議会だよりの点字版・音声版を作成しています。希望される方は点字図書室までお問い合わせください。

問い合わせ先

千歳市総合福祉センター2階
点字図書室 TEL 0123-27-3921

議会報編集委員会

委員長 岩満 順郎
副委員長 吉谷 徹
委員 渡部 謙太郎
今野 正恵
小川 陽平
今井 ひろみ
相沢 晶子

(編集委員 小川 陽平)

政治家の仕事は、人に会い、関係者と対話を重ね、時間をかけて物事を少しでも前に進むよう努力することだと、1年経って感じています。議員一人ひとりの一般質問には、その議員の背景や市民の想いが見え隠れしているの、聞いていて面白いです。今のAI時代に求められる効率性とは真逆のものかもしれない。しかし、その積み重ねこそが人の営みを厚くし、まち全体を豊かにしていくものではないでしょうか。今後この議会だよりを通じて、市政を身近に感じていただくきっかけとなるよう努めてまいります。次号もぜひご覧ください。

編集後記